

■株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 每年6月下旬
基準日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日
中間配当 每年9月30日
株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)
取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに
日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

●住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別
口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

●上場株式配当等の支払いに関する通知書について

租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、平
成21年1月以降にお支払いする配当金について株主様あてに配当金額や源
泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を送付することが義務づけられました。
配当金領収証にてお受取りの株主様は年末または翌年初に「支払通知書」
を送付いたしますのでご覧ください。口座振込を指定されている株主様は配
当金支払いの際送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。
なお、両書類は確定申告を行う際その添付資料としてご使用いただくこと
ができます。



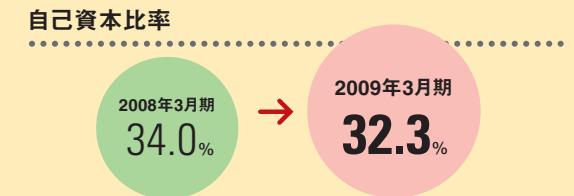
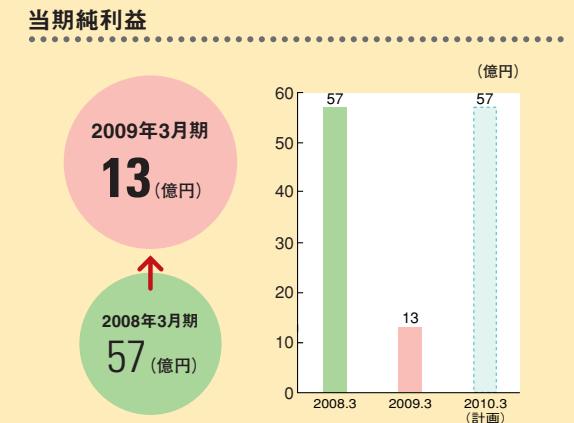
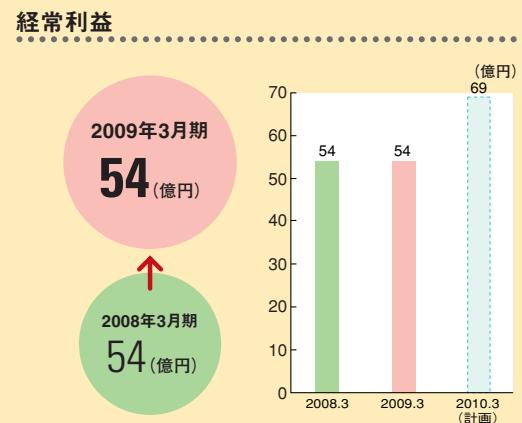
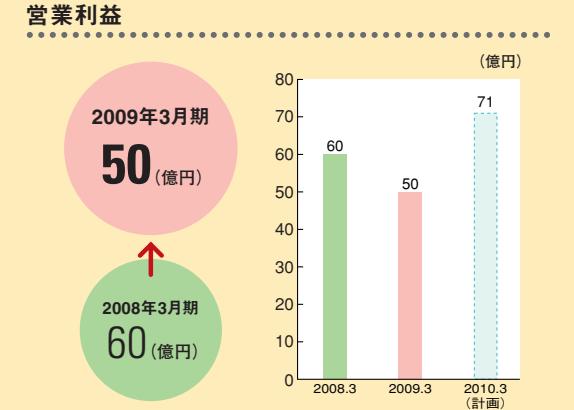
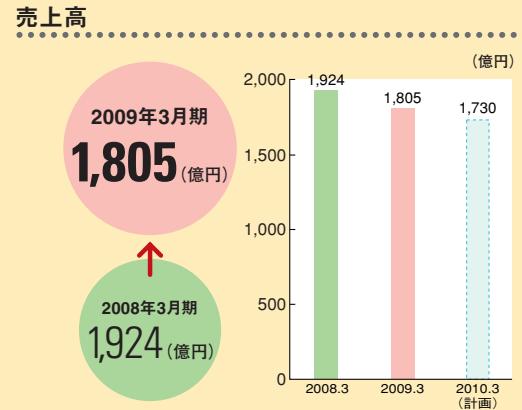
PLARAIL®



2009年3月期(第58期)
年次報告書
2008年4月1日～2009年3月31日

**TAKARA
TOMY**

証券コード:7867



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当期は、個別の玩具事業においては、トミカ・プラレール・リカちゃんなど定番商品の堅調な実績に加え、過去最高の売上を記録した人気のトレーディングカードゲーム「デュエル・マスターズ」や、アニメ放映やDVDの発売によりアメリカで引き続き好調を維持した「トランسفォーマー」が大きな牽引役となって、売上・利益ともに目標を達成することができました。しかしながら連結業績は、米国に端を発した世界的な経済危機に抗いきれぬまま、投資有価証券評価損の発生、玩具周辺事業や海外玩具事業の不振により、当初の目標を下回る結果となりました。株主の皆様のご期待に沿うことができませんでしたことを心よりお詫び申し上げます。

こうした状況に対し、業績改善の具体的な施策として、本社組織の改定、不振が続く国内玩具周辺事業や海外販社の再構築を下期より実施し、次期に向けての足固めを着実に行ってまいりました。また、コンテンツビジネスの強化・拡大、中国や韓国といったアジア地域を照準としたグローバル戦略の展開、ベトナム移管の推進といった生産体制の見直しによるコスト削減など、成長に向けての諸施策を間断なく断行してまいります。

リーマン・ショック以降、世界経済は未だ出口の見えない危機的状況から脱却できずにおられます。個人消費の冷え込みは当面続くものと予想され、これまで以上にお客様のニーズにお応えする商品企画力と価格戦略の徹底、魅力ある買い場の提供が求められていくとの理解を強めています。

タカラトミーは1924年、関東大震災直後の焼け野原で創業し、今年85周年を迎えました。大正から昭和、そして平成へ、85年という歳月はさまざまな難難を乗り越えて築き上げられてきました。私たちもまた、今この混迷の時代にあって、自らが歴史を創りあげていくという気概をもって目の前に広がる「ピンチ」を「チャンス」に変えてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともさらなるご支援とご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長 富山 幹太郎



»» 丸の内キャピタルとの戦略的資本・事業提携

当社は、三菱商事(株)(以下「三菱商事」)と(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ(以下「MUFG」)傘下の三菱UFJ証券(株)が共同で設立した投資ファンド運営会社である丸の内キャピタル(株)との間で、戦略的資本・事業提携を行うことに合意いたしました。



これまでにも当社は、2007年3月以降、米国の大手プライベート・エクイティ投資会社であるTPGとの間で、企業価値向上を目指した戦略的資本・事業提携関係を構築しておりますが、かかるTPGとの間の提携関係を維持しつつ、新たに丸の内キャピタルに対し、三菱商事グループおよびMUFGが保有する事業ネットワーク・経営ノウハウを活用した事業的側面からのサポート、ならびに日本を代表する企業グループの一員として連結経営ノウハウを有する投資ファンドからの役員派遣によるコーポレート・ガバナンスの向上、および当該ファンドからの友好的かつ安定的な資本の導入を要請し、戦略的資本・事業提携を行いました。この資本提携の具体的実施のため、当社の自己株式を丸の内キャピタルに処分いたしました。

丸の内キャピタルは、安定的かつ友好的に投資先の株式を保有し、企業価値向上施策として三菱商事グループが有する事業

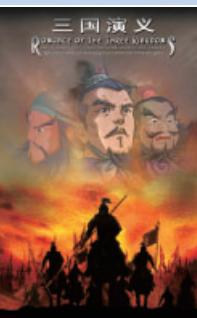
ネットワーク・ノウハウやMUFGの金融ソリューション力等を幅広く活用することができる投資ファンド運営会社として昨年4月に設立され、投資スタンスとして、投資先と強く安定的な信頼関係を築き、潜在的な価値や力を実現することを掲げております。

この度の提携を通じて、当社の課題の一つである連結ベースの経営を強化することにより、中核となる玩具事業のさらなる強化、玩具周辺事業の再生・競争力強化による収益力向上に加え、当社が進めるコンテンツ事業の推進およびグローバル展開による成長戦略がさらに加速できるものと確信しています。また、丸の内キャピタルとの提携関係の構築は、当社とTPGとの間でも十分な協議を経たものであり、TPGの積極的な評価を受け、当社として今回の合意に至ったものです。従いまして、今後当社は、TPGと丸の内キャピタルという、米国大手のプライベート・エクイティ投資会社と、日本を代表する企業グループに属する投資ファンドの両者からそれぞれの特色を活かした戦略的アドバイスを受け、両者の協力の下に、事業を推進していくこととなります。

なお、コンテンツ事業においては、これまで丸の内キャピタルの株主である三菱商事の100%出資子会社(株)ディーライツとの協業により、現代版ベゴマ「ベイブレード」などアニメ番組と連動した玩具販売を世界70カ国以上で展開し大きな成功を収めた実績をもっており、今後も、当社が有する豊富なコンテンツを連結グループ各社の持つ強みを活かしてさらに有効に活用できるものと考えております。また、グローバル展開においては、その重点地域であるアジア地域において、当社は既に着実なビジネス展開の礎を築きつつありますが、今後、継続的に成長・拡大するために、三菱商事グループおよびMUFGの有する幅広いネットワークを活用し、アジア地域はもとより、全世界において一層のプレゼンスの拡大を図る所存であります。

»» 初の中日合作アニメーション「三国演義」完成

中国での国家级テレビ局「中国中央電視台(CCTV)」グループなどとの初の中日合作アニメ「三国演義」が完成し、今年3月に東京で「完成発表会」を行いました。2009年度、中国全土での放送が決定しており、これに合わせて当社は玩具事業を主軸にオンラインゲーム等も含めた関連総合事業を中国にて展開してまいります。



© 2008 GAC/FP/TOMY

また3月の「東京国際アニメフェア」、4月の中国杭州での「第5回中国国際アニメフェスティバル」に三国演義ブースを出展。映像や企画開発中の商品を大々的に披露しました。その模様は日本と中国の両国のメディアに多数取り上げられ、放送を前にして早くも話題になっております。



多彩な第1弾商品ラインナップ。

「三国演義 完成発表会」右より、タカラトミー 佐藤副社長、北京輝煌動画公司 周總經理、フューチャー・プラネット 石畠社長、タカラトミー 黒木執行役員



「三国演義 完成発表会」では大勢の報道陣および日本と中国のアニメ関係者が集まつた。

「三国演義」：中国四大歴史小説の中でも最も人気が高く、明の時代、羅貫中の作によるもの。今回のアニメーションは、中国と日本の合作により、ハイクオリティな作品に仕上がっています。

»» 欧米販社の立て直し

英国の大手流通チェーンが破綻するなど世界的な景気の急減速により、当社の欧州販売子会社においても売上高が大幅に減少するなど厳しい経営環境を強いられました。そのような中、積極的に販管費の削減や事業規模の見直しを進め、売上高に

見合った事業体制を構築すべく再編成に取り組みました。北米でも厳しい市場環境のもと、不振の玩具販売から一時撤退し、家庭用ゲームソフト販売に集中するとともに、2009年4月から新体制での収益改善を目指します。



»» タカラトミーツアツ発足

2009年1月1日付けで、タカラトミーグループの4社((株)ユージン、(株)ユーメイト、(株)ハートランド、(株)すばる堂)が合併し、(株)タカラトミーツアツとして新たなスタートを切りました。カプセル玩具、玩具菓子、ぬいぐるみ、Newトイ等、これまで別々に展開していた事業を集約化とともに相乗効果を活かし、既存事業の活性化や新コンテンツの展開に取り組んでまいります。当社グループにおける玩具周辺事業の中核子会社としての新たな挑戦にご期待ください。



なお、タカラトミーツアツは、米国のコミック大手マーベル・エンタテイメントとライセンス契約を結び、2009年秋からマーベルキャラクターを使った玩具を日本で販売いたします。

「スパイダーマン」や「アイアンマン」などのマーベルが持つキャラクターをドット絵で表現した「ドットアツ」シリーズを立ち上げ、玩具以外のアパレル、文具、雑貨などライセンス展開を広げ、キャラクターとしての定着を目指します。

TM&©2009 MARVEL,
dots are Produced
by T-Arts.



»» トミーテック鉄道模型を社内で一貫生産

鉄道模型「トミックス」シリーズを手がける当社子会社の(株)トミーテックは、栃木県にある自社工場で金型製作の内製化に着手し、鉄道模型の一貫生産を開始いたしました。品質向上のためには模型の製造技術を社内に蓄積する必要があることから、これまで外部企業に委託していた塗装・車輪製作工程などの内製化を、2002年以降、順次進めてまいりました。

鉄道模型の金型製作工程

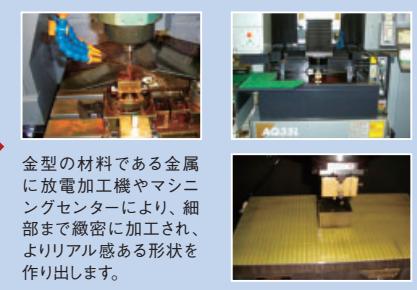


CADでつくられた3D設計図を基に金型加工データを作成します。

商品企画から組立てまで自社工場で一貫生産できる体制が整ったことにより、今後は、ニーズの変化に迅速に対応した商品開発・生産を行ってまいります。



C57形蒸気機関車(135号機)
JR東日本商品化許諾申請中



当期連結業績の概況

当社グループでは、本年度を初年度とする中期経営戦略を策定し、中核の国内玩具事業の強化を中心として、玩具周辺事業の再編、コンテンツビジネスの拡大、中国・韓国におけるグローバル展開の本格化、ベトナム工場の立ち上げなどを含む生産基盤や品質管理体制の強化など、諸施策を推進しております。また、経営環境の激変を踏まえ、事業ポートフォリオの見直しと再構築、商品力および販売力のさらなる強化、徹底した経費削減等に取り組んでおります。

この結果、当連結会計年度の連結売上高は、国内玩具事業は健闘したものの、景気悪化の影響を大きく受けた海外玩具事業および玩具周辺事業の業績不振により180,586百万円(前期比6.2%減)となり、営業利益は5,006百万円(同17.9%減)、経常利益は5,436百万円(同1.1%減)となりました。当期純利益につきましては、投資有価証券評価損、のれん減損等の特別損失4,560百万円の計上により1,377百万円(同76.0%減)となりました。

玩具事業

国内市場におきましては、トレーディングカード「デュエル・マスター」が商品力アップとイベント強化により、小学生男児を中心に爆発的な人気となり、売上を伸ばすことができました。また、1999年に発売し、その人気ぶりが社会現象となった現代風“ベーゴマ玩具”「ペイブレード」に進化を加えて復活させた「メタルファイト ペイブレード」を発売し、2009年4月からのTVアニメ放映スタートによる本格的な拡販に向けて順調に販売展開を進めることができました。また、「トミカびゅんびゅんサーキット」や、「リカちゃん ミスターードーナツショップ」が人気を博すなど、定番商品は堅調に販売することができました。大人向けの鉄道模型(Nゲージ)やホビー事業を手がける連結子会社(株)トミーテックは、高い商品力で引き続き業績を伸長させました。さらに全国で玩具・ファンシーグッズなどの販売を手がける(株)キティランドは、キャラクターショップ展開の拡大を進めるとともに、不採算店舗を閉鎖するなど、継続した収益向上への取組みにより5期ぶりに営業黒字化を達成することができました。

海外市場におきましては、「トランスフォーマー」はテレビアニメ放映による安定した人気と優れた商品力で米国市場向け輸出が引き

続き好調に推移いたしました。また、玩具発コンテンツ「トミカヒーローレスキューフォース」の韓国テレビ放映を開始するなど、国内マーケティングと連動した取組みを開始いたしました。一方、欧州では、景気悪化の影響や取引先の信用不安拡大により、現地販売子会社は一部出荷制限を行うなど、厳しい事業運営を強いられたとともに、北米においても現地販売子会社は玩具事業の一時撤退により、売上は大幅に減少いたしました。

以上の結果、玩具事業における売上高は、114,007百万円*(前期比0.4%減)となり、営業利益は8,966百万円*(同2.8%減)となりました。



TM&©Wizards of the Coast/Shogakukan/
Mitsui-Kids



発揮するには至らず、売上は低迷いたしました。

以上の結果、玩具周辺事業における売上高は、71,063百万円*(前期比14.8%減)、営業損失1,281百万円*(前年営業利益13百万円)となりました。

© 2009 Pokemon © 1995-2009 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.
Developed by TOMY and AQ INTERACTIVE
Pokemon・Pokemonは任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。



連結財務諸表



連結貸借対照表(要旨)

科目	当期 (2009年3月31日現在)	前期 (2008年3月31日現在)
【資産の部】		
流動資産	58,092	63,498
現金及び預金	21,713	22,214
受取手形及び売掛金	18,649	20,427
有価証券	264	274
たな卸資産	11,918	12,842
繰延税金資産	2,334	4,188
その他	3,628	3,863
貸倒引当金	△418	△313
固定資産	33,414	34,727
有形固定資産	19,947	21,198
建物及び構築物	5,733	6,614
機械装置及び運搬具	293	360
工具、器具及び備品	2,178	3,184
土地	10,075	10,738
リース資産	1,407	—
建設仮勘定	259	301
無形固定資産	1,048	1,378
投資その他の資産	12,418	12,149
投資有価証券	3,495	6,115
繰延税金資産	4,684	1,943
その他	4,581	4,374
貸倒引当金	△342	△283
繰延資産	92	25
資産合計	91,600	98,251

(単位:百万円)

科目	当期 (2009年3月31日現在)	前期 (2008年3月31日現在)
【負債の部】		
流動負債	37,684	43,350
支払手形及び買掛金	10,022	11,107
短期借入金	13,955	9,704
一年以内返済予定長期借入金	1,167	754
一年以内償還予定社債	1,873	1,639
一年以内償還予定新株予約権付社債	—	5,718
未払金	4,169	4,990
未払費用	3,901	5,131
その他	2,594	4,305
固定負債	23,249	19,080
社債	5,140	1,853
新株予約権付社債	7,000	7,000
長期借入金	4,860	4,660
退職給付引当金	1,934	1,683
その他	4,314	3,883
負債合計	60,934	62,431
【純資産の部】		
株主資本	32,749	36,926
資本金	3,459	3,459
資本剰余金	7,252	7,252
利益剰余金	26,380	26,319
自己株式	△4,343	△105
評価・換算差額等	△3,205	△3,468
その他有価証券評価差額金	△257	△216
繰延ヘッジ損益	△138	△844
土地再評価差額金	△131	△669
為替換算調整勘定	△2,678	△1,737
新株予約権	111	45
少数株主持分	1,010	2,318
純資産合計	30,666	35,820
負債純資産合計	91,600	98,251

(単位:百万円)

連結損益計算書(要旨)

科目	当期 自 2008年4月 1日 至 2009年3月31日	前期 自 2007年4月 1日 至 2008年3月31日
売上高	180,586	192,423
売上原価	128,138	138,500
売上総利益	52,447	53,923
販売費及び一般管理費	47,441	47,825
営業利益	5,006	6,097
営業外収益	1,346	1,378
営業外費用	916	1,978
経常利益	5,436	5,498
特別利益	202	1,084
特別損失	4,560	881
税金等調整前当期純利益	1,077	5,700
法人税、住民税及び事業税	890	1,172
過年度法人税等戻入額	66	△122
法人税等還付税額	△30	△172
法人税等調整額	△1,190	△760
少数株主損失(△)	△35	△164
当期純利益	1,377	5,748

(単位:百万円)

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科目	当期 自 2008年4月 1日 至 2009年3月31日	前期 自 2007年4月 1日 至 2008年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,577	13,174
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,886	△2,592
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,634	△12,034
現金及び現金同等物に係る換算差額	△420	△616
現金及び現金同等物の減少額(△)	△363	△2,068
現金及び現金同等物の期首残高	21,896	23,965
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の減少額(△)	△40	—
現金及び現金同等物の期末残高	21,492	21,896

(単位:百万円)

連結株主資本等変動計算書(要旨) (自 2008年4月1日 至 2009年3月31日)

	株主資本					評価・換算差額等	新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計				
2008年3月31日残高	3,459	7,252	26,319	△105	36,926	△3,468	45	2,318	35,820
連結会計年度中の変動額									
剩余金の配当			△925		△925				△925
当期純利益			1,377		1,377				1,377
自己株式の取得				△4,273	△4,273				△4,273
自己株式の処分		0		35	35				35
土地再評価差額金の取崩			△538		△538				△538
在外子会社の会計処理の変更に伴う増減		148		148	148				148
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						263	66	△1,307	△978
連結会計年度中の変動額合計	—	0	61	△4,238	△4,176	263	66	△1,307	△5,154
2009年3月31日残高	3,459	7,252	26,380	△4,343	32,749	△3,205	111	1,010	30,666

(単位:百万円)

重点・話題商品

定番商品の強化

プラレール®

「プラレール」誕生50周年

今年のテーマは「DISCOVER PLARAIL～プラレール∞新発見！～」

当社のロングセラー鉄道玩具「プラレール」は、2009年に誕生50周年を迎えます。1959年にプラレールの原型である「プラスチック汽車・レールセット」が発売されてから半世紀、身近な「鉄道」をテーマに、創造力をはぐくむ玩具として愛され、今や親子3世代にわたるブランドへと成長いたしました。これからも発売当初の情熱と品質へのこだわりを忘れず、夢をつなぎ、創造力を喚起する商品を世の中に送り出してまいります。

プラレールの原型「プラスチック汽車・レールセット」



1959年

記念商品
第一弾



2009年

初代プラレールの「プラスチック汽車・レールセット」は、手で転がして遊ぶ5両編成のオリジナルデザインの汽車とアーチ橋を含むレールセット。

プラレールのトレードマーク「青いレール」のひみつ

- 青いレールの規格は1959年当時と同じ。どの時代のレール同士でもつなげることができます。
- プラレールが誕生するとき、曲線レールの直径を決める参考にしたのが「ちゃぶ台」。当時ほとんどの家庭にあったちゃぶ台がサイズのヒントになりました。
- “青いレール”は日々、進化中。電車が滑らないように“車輪の接地面”が工夫されており、材質も折れにくい素材に変更しています。

つるつるレール
さらさらレール
ギザギザレール



リカちゃん モスバーガーショップ

昨年発売し大好評だった「リカちゃんミスタークリスマスショップ」に続き、今年は「モスバーガーショップ」を発売いたします。女の子が大好きなたべもの屋さんテーマで、盛り付け遊びやごっこ遊びが楽しめます。

© MOS FOOD SERVICES, INC.
※人形は付属していません。



トミカのラインナップに、新たに通常のトミカと比べて箱サイズが2倍、商品サイズも約2倍のロングタイプが仲間入り。通常サイズのトミカでは表現できない車や、電車などロングサイズだからこそできる魅力のラインナップを発売しています。



No.133 コベルコ オールテレーンクレーン
KMG5220



今度の人生ゲームはシビアな世相を反映。100年に一度の経済危機により家で過ごす時間が増えたと言われる昨今、家族や仲間と一緒にコミュニケーションを図りながら気分転換し、元気にたくましくこの時代を乗り切ってもらおうと企画しました。



KIWAMI
極
人生ゲーム
人生を
から
かわ
じん
せ
きめ
て辛
い人生を
勝
ちあが
れ!

©1968,2009 Hasbro. All Rights Reserved. ©TOMY

玩具発 原創コンテンツの 展開加速

当社は、玩具発オリジナルコンテンツの強化を推進しています。昨年夏からリバイバル発売している現代版ベーゴマ「ベイブレード」が、2009年4月のアニメ「メタルファイト ベイブレード」(テレビ東京系)放映を機に、小学生男児を中心に爆発的な人気となっています。

また、「トミカヒーロー」シリーズも2年目に突入し、映像と連動したキャラクター玩具を展開いたします。

今後は、ハスプロ社(米国玩具メーカー)と提携し、それぞれ海外展開も予定しているなど、オリジナルコンテンツのグローバル展開も加速してまいります。



©「トミカヒーロー レスキューファイア」製作委員会/
テレビ愛知・電通 ©TOMY



特集 クッキングトイ

レンジで作れる! 生キャラメルポット

「生キャラメルポット」

今話題のスイーツ「生キャラメル」が家庭の電子レンジで簡単に本格的に作れる調理玩具。この商品を使うと時間と手間が省け、家庭で簡単に生キャラメルを作ることができます。



レンジでできる!おやつ 親子のたいやきくん

「親子のたいやきくん」

市販のホットケーキの素と電子レンジを利用して“日本生まれのおやつ”「たいやき」を、誰でも手軽においしく、自宅で作ることができます。



「親子のたいやきくん」のイメージキャラクターには、10歳の少女演歌歌手 さくらまやちゃんを起用。CMソング「大漁まつり」の元気な歌声にのせて、ぜひ「親子のたいやきくん」で楽しいクッキングタイムをお楽しみください。



タカラトミー ぱぱしえ 検索

Ice Maaže

「アイスマージュ」

市販のカップアイスと好きなお菓子を入れてハンドルをまわすだけで、簡単にオリジナルアイスが作れます。チョコやクッキー、おせんべいなど、アイスとお菓子が見事に混ざり、おいしい新食感アイスが楽しめます。



「お金をかけずに」、「手軽に」、「健康・食の安全にも気を遣う」などを理由に、家族やお友達とおうちの中で作って楽しむ「クッキングトイ(調理玩具)」の人気が高まっています。家族や友人が集まった時の団欒の時間など様々なシーンで、みんなで会話をしながら楽しむことで、おうちの中がほっこり温かくなる空間づくりを提案します。

映画「ヤッターマン」大ヒット御礼

2009年3月に公開された映画「ヤッターマン」が、動員数260万人、興行収入30億円を突破する大ヒットとなりました。今後も、ヤッターマン、タツノココンテンツにご期待ください。



©タツノコプロ ©2008 タツノコプロ／ヤッターマン製作委員会

待望の映画化決定

小学生男児NO.1人気を誇るトレーディング・カードゲーム「デュエル・マスターズ」と小学生男児NO.1人気のギャグマンガ「ペンギンの問題」が2009年9月19日に全国の劇場で、同時上映されることが決定しました。



TM and ©2009,
Wizards of the coast,
Shogakukan,Mitsui-kids,
ShoPro,TV TOKYO

©2009 劇場版「デュエベン」製作委員会

「トランスフォーマー」



日本で誕生した変形合体ロボット「トランスフォーマー」は、2009年で誕生から25周年を迎え、世界規模のコンテンツに成長しました。2007年夏に全世界で大ヒットを記録したハリウッド映画超大作の第2弾が、2009年6月に「トランスフォーマー／リベンジ」となって帰ってきます! 前作をはるかに凌ぐ圧倒的な迫力で、再び世界中で「トランスフォーマー」旋風が巻き起こります!



おもちゃ
かわらばん





株式の状況／株主優待

(2009年3月31日現在)

■ 株式の状況

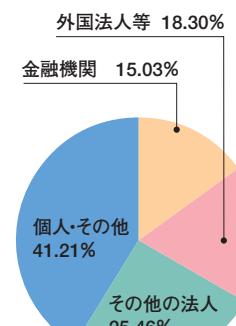
発行可能株式総数	384,000,000株
発行済株式の総数	96,290,850株
単元株式数	100株
株主数	73,000名

■ 大株主

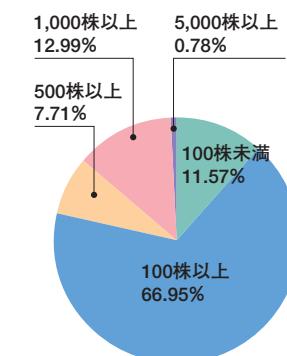
株主名	持株数(株)	出資比率(%)
ティーピージー リッチモント ワン エル ピー	13,545,800	15.10
株式会社インデックス・ホールディングス	7,507,996	8.37
富山幹太郎	4,899,266	5.46
有限会社トミーインシュアランス	4,519,952	5.03
日本トラステイ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	3,210,300	3.57
日本トラステイ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,788,000	3.10
富山章江	2,483,101	2.76
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,044,600	2.28
司不動産合資会社	945,360	1.05
塙谷佳代子	912,833	1.01

(注)出資比率は自己株式(6,597,863株)を控除して計算しております。

■ 所有者別株式数比率



■ 所有株式数別株主数比率



■ 株主優待

当社は、下記のとおり株主優待を実施いたします。

① 対象

2009年3月31日現在の当社株主名簿および実質株主名簿に基づき、100株以上保有の株主様に株主優待品を贈呈いたします。

② 優待内容

保有株式数 100株以上1,000株未満の株主様

- 当社がスポンサーしているレーシングチーム「ハセミモータースポーツ」の「日産 GT-R レーシングカー」1台
- 「ヤッターマン」に登場するロボット「ヤッターワン」をデザインしたチョコQ 1台



© タツノコ/劇場版アニメ「ヤッターマン」2009

保有株式数 1,000株以上の株主様

- 同上のトミカ 1台
- 同上のチョコQ 1台
- 当社が創業した85年前に流行した大正時代のファッショントレンド「モダン・ガール」をイメージしたオリジナルリカちゃん 1体



③ 発送時期

2009年8月下旬を予定しております。

■ 会社概要

商号

株式会社タカラトミー

〒124-8511 東京都葛飾区立石7-9-10

1953年1月17日

3,459百万円

玩具・雑貨・カードゲーム・家庭用ゲームソフト・

乳幼児関連商品等の企画、製造および販売

631人

三井住友銀行 みずほ銀行

三菱東京UFJ銀行 商工中金 新生銀行

みずほ信託銀行 りそな銀行

東京都民銀行 中央三井信託銀行

足利銀行 農林中央金庫

役員

代表取締役社長 富山 幹太郎

取締役副社長 佐藤 慶太

専務取締役 奥秋 四良

常務取締役 三浦 俊樹

取締役 高橋 勇

取締役 真下 修

取締役 柳澤 茂樹

取締役(社外) 渡辺 泰行

取締役(社外) 津坂 純

取締役(社外) 石田 昭夫

取締役(社外) 落合 正美

常勤監査役 野沢 武一

監査役(社外) 梅田 常和

監査役(社外) 野上 順

監査役(社外) 水戸 重之

監査役(社外) 吉成 外史

常務執行役員 岡田 三郎

常務執行役員 力石 稔

常務執行役員 本村 直之

執行役員 神尾 俊二

執行役員 黒木 健一

執行役員 沢田 雅也

執行役員 須佐 謙一

執行役員 田島 省二

執行役員 佐古 至孝

執行役員 中嶋 勝

執行役員 水沼 正憲

執行役員

■ 主要グループ会社

◆ 国内

株式会社タカラトミーアーツ

カプセル玩具等トレーディング、小物
玩具、雑貨、季節商材、ぬいぐるみ、
玩具菓子の企画・製造・販売

鉄道模型等の企画・製造・販売

玩具等の輸入販売

キッズアパレルの企画・製造・販売

ベビーアパレルの企画・製造・販売

アニメーション企画制作等

菓子等の企画・製造・販売

玩具周辺商品付健康食品、栄養
食品の企画・製造・販売

玩具・雑貨・TVゲーム機アクセ
サリー等の企画・製造・販売

コンテンツ企画制作、広告メディア
事業、ライツ事業等

流通・販売戦略の立案・実行
および事業活動の管理

玩具等の卸販売

TVゲーム関連商材・玩具等の
卸販売

玩具等の卸販売

玩具・雑貨・書籍等の小売

プロダクトデザイン・コンサルティ
ング等

書籍・DVD・和洋菓子の販売

玩具等の開発技術支援

ロジスティックス

情報システムの開発・設計・保守

アフターサービス

◆ 海外

TOMY UK LTD.

玩具等の販売

TOMY FRANCE S.A.R.L.

玩具等の販売

TOMY CORPORATION

玩具等の販売

TOMY(HONG KONG) LTD.

玩具等の製造・販売

TOMY(SHENZHEN) LTD.

玩具等の製造・販売

TOMY(SHANGHAI) LTD.

玩具等の販売

TOMY(THAILAND) LTD.

玩具等の製造

TOMY YUJIN KOREA CO.,LTD.

カプセル玩具等の販売

会社概要

(2009年3月31日現在)

